

昭和のくらし

～1945年頃まで～

「昭和」は歴代年号の中で最も長く、昭和64年まで続きました。その「昭和」から「平成」になってからでも、すでに20年以上経過しています。

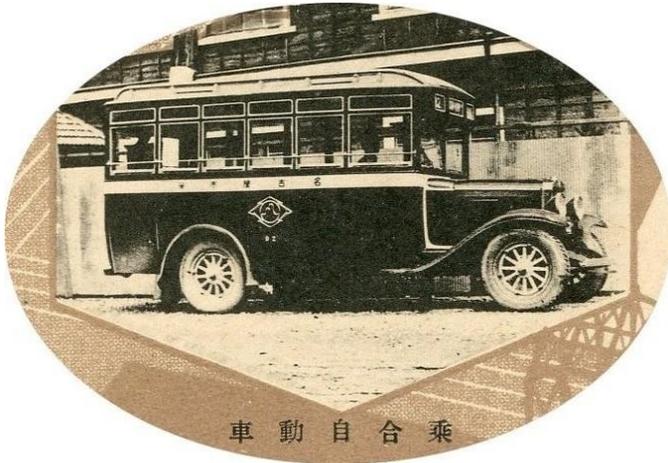
第6回展示では、激動の時代「昭和」を熱田区歴史資料室収蔵品資料の中から振り返ります。

「昭和」の初めは、金融恐慌が発生するなど不安定な社会状況でしたが、都市部では現代のような生活スタイルが始まり、余暇を楽しむために映画等の大衆文化が成長しました。また、名古屋市役所に代表されるような新たな建造物の建設や、市営バスの営業が開始するなど、市民の生活にも更に変化があらわれてきました。これらのものの中には、現在に至るまでの間に、戦争や時代とともに失われてしまったものも数多くあります。名古屋・熱田の過ぎ去った日々の風景、出来事を当時の書籍や絵はがき等によりご覧いただけます。



▲ 戦ふ名古屋

名古屋市銃後奉公会



▲名古屋市人口百萬記念大会絵葉書より

乗合自動車

展示替え：平成24年8月1日（水）から

開設時間：区役所開庁時間

無料 ご自由にご鑑賞ください

場 所：熱田区歴史資料展示コーナー

（区役所1階）

問 合 せ：熱田区役所まちづくり推進室

Tel.683-9425

（福島コレクションについて）

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年の歳月を費やして収集された約1200点もの熱田を中心とした貴重な歴史資料（錦絵、地図等）です。昭和59年6月の熱田社会教育センター（現 熱田生涯学習センター）の開館にあたり、名古屋市（熱田社会教育センター）に寄贈されたものです。

（熱田区歴史資料展示コーナーについて）

熱田区歴史資料展示コーナーは、平成22年11月に開設し、熱田区歴史資料ボランティア（代表 周防有彦さん以下10名）の皆さんの活動により運営されています。